

令和8年5月28日

京都市長 松井 孝治 様

京都市醍醐交流会館コンソーシアム
代表者 京都醍醐センター株式会社
代表取締役 川端 昌和

令和7年度 京都市醍醐交流会館 事業報告書

京都市醍醐交流会館の管理に関する協定書第5条第1項の規定に基づき、令和7年度事業報告書を下記のとおり提出します。

記

- | | |
|------------------|-------|
| 1 利用状況 | (別紙1) |
| 2 収入・支出状況 | (別紙2) |
| 3 自主事業に係る実施・収支状況 | (別紙3) |
| 4 利用者の満足度やニーズの状況 | (別紙4) |
| 5 自己評価 | (別紙5) |

京都市醍醐交流会館
令和7年度 利用状況

1、施設利用率(日数利用率、区分稼働率)

施設名称	日数利用率	前年度同期比	区分稼働率	前年度同期比
ホール	39.9%	-6.8pt	27.2%	-5.2pt
第1・2会議室	59.7%	1.9pt	33.0%	1.2pt
第1会議室	68.3%	1.3pt	40.3%	1.1pt
第2会議室	51.0%	2.4pt	25.7%	1.3pt
第3会議室	67.9%	7.6pt	33.1%	3.1pt
和室A・B	70.8%	1.9pt	37.5%	0.0pt
和室A	64.5%	-0.4pt	32.8%	-0.7pt
和室B	77.2%	4.3pt	42.3%	0.8pt
音楽スタジオ	66.3%	-4.7pt	37.6%	-0.7pt
合計	62.6%	0.9pt	34.2%	0.1pt

2、収納金額(施設及び付属設備使用料)

施設名	金額:円	前年度同期金額 (還付反映後):円	前年度同期比
ホール	4,456,390	4,660,110	95.6%
第1～3会議室	5,530,280	4,600,460	120.2%
和室A・B	1,423,450	1,187,890	119.8%
音楽スタジオ	1,424,860	1,285,200	110.9%
付属設備	3,953,520	4,095,240	96.5%
合計	16,788,500	15,828,900	106.1%

* 令和4年6月1日から施設使用料及び申請受付開始日(期間)が改正されています。

* 空調機器更新工事の為、令和6年6月1日から6月15日までは全館休館。6月16日から6月30日までは第1・2会議室、和室A・Bは休館。ホール、第3会議室、音楽スタジオは利用可能(但し、ホール内部以外の空調・換気は使用不可)

(参考)過去3年間における施設利用率(日数利用率、区分稼働率)と収納金額の推移

年度	日数利用率	前年度比	区分稼働率	前年度比	収納金額(円)			前年度比 (A比)
					収納金額 (A)	還付金額 (B)	当初調定額 (A+B)	
令和6年度	61.7%	-5.7pt	34.1%	-3.7pt	15,831,400	2,500	15,833,900	92.9%
令和5年度	67.4%	-2.3pt	37.8%	-0.2pt	17,048,140	18,100	17,066,240	96.1%
令和4年度	69.7%	-7.5pt	38.0%	-4.6pt	17,748,090	0	17,748,090	134.5%

京都市醍醐交流会館
令和7年度 収入・支出状況

受任金額 金 60,110,000 円
 収入金額 金 60,110,000 円
 支出金額 金 53,906,622 円
 差引額 金 6,203,378 円

単位:円

項目	予算額	支出額	備考
管理運営費	16,636,364	16,873,136	DC人件費、シルバー人件費
警備保安費	454,546	446,904	防犯・防災警備、館内巡回、ITV等監視
設備保守管理費	16,000,000	15,216,000	設備保守管理委託、ホール等照明・音響運営委託等
設備修理費	1,000,000	0	設備修繕等
環境衛生費	9,454,546	8,944,680	清掃費、ごみ処理費
広告宣伝費	318,182	0	ホームページ更新
光熱水費	6,772,728	5,758,656	電気・水道・ガス
諸雑費	4,009,091	1,766,645	日用品・消耗品、管理事務費、通信費、リース料等
小計	54,645,457	49,006,021	
消費税(10%)	5,464,543	4,900,601	
合計	60,110,000	53,906,622	

(参考)

京都市醍醐交流会館
令和7年度 支出内訳

単位:円

項目	金額	内訳			備考		令和7年度予算
		長谷エココミュニティ・和光建物 ①	その他委託等 ②	DC ③	①②	③	
管理運営費	16,873,136	0	4,908,933	11,964,203	②シルバー人材センター人材派遣料	DC人件費	16,636,364
警備保安費	446,904	0	446,904	0	②防犯・防災警備、館内巡回、I TV等監視		454,546
設備保守管理費	15,216,000	953,200	14,262,800	0	①設備保守管理委託 ②ホール等照明・音響運営委託 等		16,000,000
設備修理費	0	0	0	0	①設備修繕等		1,000,000
環境衛生費	8,944,680	8,292,000	652,680	0	①清掃費 ②ごみ処理費		9,454,546
広告宣伝費	0	0	0	0	②ホームページ更新		318,182
光熱水費	5,758,656	0	5,758,656	0	②電気、水道、ガス		6,772,728
諸雑費	1,766,645		1,766,645		②日用品・消耗品費、管理 事務費(事務用品費等)、通 信費、リース料等		4,009,091
小計	49,006,021	9,245,200	27,796,618	11,964,203			54,645,457
消費税(10%)	4,900,601	924,520	2,779,661	1,196,420			5,464,543
合計	53,906,622	10,169,720	30,576,279	13,160,623			60,110,000

京都市醍醐交流会館
令和7年度 自主事業

1 実施状況

区 分	事業概要	実施状況
事業計画①	アップライトピアノ、キーボード、プロジェクター、ミラーボール、照明用カラーフィルム、ハロゲンピンスポットの有料貸出。楽器の無料貸出。	・各楽器及び機器あるいは道具の使用を、区分単位、日数単位、貸出数によって使用料を徴収する。
事業計画②	ホール技術者増員 (舞台技術者、音響技術者、照明技術者)	・1区分22,000円、2区分25,300円、全日29,700円、早朝及び中間時間に係る場合は、30分単位で2,200円
事業計画③	ピアノ教室・歌唱交流レッスン ピアノ教室成果発表会	・ピアノ教室 2コースを開講、受講料3,500円/月 ・3月の最終水曜日に成果発表会をホールにて開催 ・歌唱交流レッスン 500円/回
事業計画④	交流文化祭	・令和7年11月16日開催 ステージ発表18組、展示発表5組 ・ステージ出演料 ひとり1,000円展示出展料 1ブース 500円

2 収支状況

収入

単位:円

項 目	予算額	収入額	備 考
各種使用料	200,000	266,094	事業計画①関係
ホール増員人件費	1,200,000	1,302,000	事業計画②関係
受講料	1,050,000	909,506	事業計画③関係
出演料・出展料	227,000	230,921	事業計画④関係
その他	0	0	上記に属さない収入
小計	2,677,000	2,708,521	
消費税 (10 %)	267,700	270,852	
合計	2,944,700	2,979,373	

支出

単位:円

項 目	予算額	支出額	備 考
ピアノ調律、キーボード購入	18,000	60,000	事業計画①関係
ホール増員人件費	1,200,000	1,271,000	事業計画②関係
講師料、施設使用料等	900,000	1,064,421	事業計画③関係
施設使用料等	190,000	226,339	事業計画④関係
その他	28,000	28,000	事務用品等雑費
小計	2,336,000	2,649,760	
消費税 (10 %)	233,600	264,976	
合計	2,569,600	2,914,736	

差引額(収入－支出)
64,637 円

京都市醍醐交流会館

令和7年度 利用者の満足度やニーズの状況

1 利用者満足度の把握状況

自主事業の参加者に対するアンケートのほか、受付窓口等においても利用者の要望を確認するなど、随時、意見集約を行っている。

【アンケート回収率平均】43.1%

2 利用者のニーズ・要望の状況

(1) 自主事業における参加者アンケート

自主事業については、概ね好評価を得ており、事業の継続実施及び時間の延長等更なる充実を希望する声が大半を占めている。また、近隣地域及び他地域の皆様が参加した「交流文化祭」については、貴重なアマチュアの発表の場との意見もあり好評であった。

(2) 情報提供に関する要望

施設利用や申請方法、その他の市民生活に役立つ情報について、どなたにでもわかりやすく情報提供するとともに、親切丁寧に接遇することが望まれている。

(3) 通信環境に関する要望

館内の wi-fi 通信環境について整備を望む声が出ており、施設利用の問い合わせ時にも wi-fi 通信環境や有線接続環境の有無を照会される場面が増えている。

3 ニーズ・要望への主な対応状況

有料貸出備品については、利用頻度及び使用状況を慎重に把握したうえで、適切に更新が進められるよう、適宜、報告・提案を行っている。

情報提供については、様々な手段（パンフレット、チラシ・ポスター、ホームページ、窓口対応）を用いている。今年度も、隣接するパセオ・ダイゴロー東館にもパンフレットブースと告知看板の設置を継続し、随時、情報発信を行っている。また、問い合わせ内容に関係する市施設へ案内なども行っている。

wi-fi 通信環境については、現在、当館に導入されている『KYOTO wi-fi』について利用の案内をしている。また、市の所管課にも利用者からの要望として整備の希望を伝えている。

京都市醍醐交流会館

令和7年度 自己評価

- 1 近年の高齢化や物価上昇などの社会情勢を受け、より手頃に文化芸術や生涯学習活動の機会提供を望む声が多いことから、気軽に参加しやすい自主事業を実施することが重要だと認識しており、それらの企画を立案するとともに、工夫や見直しを行いながら、よりよいものを継続的に実施できるように取り組んでいる。
- 2 高齢の方の御利用が多いことを踏まえ、新型コロナウイルス感染症の5類への移行後も、消毒液の設置・貸出及び貸出備品の消毒を行うなど、感染症対策を継続することで、利用者の方々に安心・安全に利用いただけるように努めている。
- 3 施設運営の目指すべき方向性は、時代の需要に即した適応力と対応力であると認識しており、職員ひとりひとりが常に利用者のニーズや意向を踏まえ、その充足が図られるよう、意識して業務に従事するように取り組んでいる。
- 4 施設や備品については、適正な維持管理に努め、必要な小修繕を随時行うことで、利用者の方々に快適な御利用をいただけるように努めている。
- 5 隣接する施設にもパンフレットブースや告知看板を設置するなど、当館の認知度の向上及び新規顧客の掘り起こしを行い稼働率の回復を図っている。
- 6 自主事業の「交流文化祭」では、近隣地域と他地域とのさらなる交流を図るため、京都市内の主な文化交流施設や青少年活動施設にも告知や募集を広げたことで、近隣地域以外での当館の認知度の向上を図っている。